なんYA!かんYA!

スポーツの秋は過ぎ去り、年が空けたら受験シーズン。
でも、入った高校にお目当ての部活がないと大変！
意外とメジャースポーツでも部活がない学校もあるから気をつけて。
今回はそんな、「**部活動でくらべてみました。運動部編**」です。
変わっていることもあるから、詳しくはお問い合わせを･･･。

	水口高校	水口東高校	甲南高校	信楽高校	甲西高校	石部高校
陸上競技	○	○	○		○	○
野球	○	○	○	○	○	
ソフトボール	○	○	○		○	
サッカー	○	○	○	○	○	
バスケットボール	男・女	男・女	男・女	女子	男・女	男・女
バレーボール	男・女	女子	男・女	男・女	男・女	女子
硬式テニス		男・女	男子			男・女
ソフトテニス	男・女			女子	男・女	
卓球		○	○		○	
剣道	○	○			○	
弓道	○		○		○	
レスリング	○			○		

唯一無二

ライフル射撃
＝水口高校

ワンダーフォーゲル
＝水口東高校

空手道
＝水口高校

山岳
＝甲西高校

バドミントン
＝石部高校

トショブラ❤　～マンガもあるんだよ！～

図書館にマンガもあるって知ってました？「図書館にマンガを置いて欲しい」という要望におこたえし、４年前からマンガを図書館資料として集めています。『おそ松くん』など昔から読みつがれてきた名作や、『大家さんと僕』などマンガ賞を受賞した作品、『聲の形』など映画化やドラマ化された中でも評価の高い作品を中心にそろえていて、約３３０タイトルを所蔵しています（２０１９年１０月現在）。市内にあるものは予約・取り寄せもできるので、ぜひご利用ください！

発行：甲賀市図書館
水口図書館　：63-7400　土山図書館　：66-1056
甲賀図書情報館：88-7246　甲南図書交流館：86-1504
信楽図書館　：82-0320
ホームページ：http://lib.city.koka.lg.jp/

Book guide for Young Adult　甲賀市図書館ヤングアダルト通信

ホンマニ！ HONMANIA

vol.10
2019. Winter -Spring
Koka City Library

ヤングアダルト（Young Adult）とは、13歳から19歳の世代の人たちに対して使われている言葉で、「若いおとな」という意味です。
甲賀市図書館ヤングアダルト通信『ホンマニ！』では、
ヤングアダルト世代のあなたに、おすすめの本を紹介します。

おすすめこの1冊

忘れ去られた姫の、忘れられない物語

『アトリと五人の王』

菅野 雪虫／著　中央公論新社

継母であるお妃の策略で、わずか９歳にしてよその国へお嫁に出された姫アトリ。嫁いだ国はとても貧乏なうえ、国王は病弱で寝たきりの３０代･･･。普通なら失意に暮れてしまう生活も、ずっと虐げられてきたアトリにとっては、満ち足りた毎日でした。愛情を受けて育つこと、人に必要とされること、いろんなことを学べること。嫁いだ国で少しずつ人間らしい心を取り戻していくアトリでしたが、悲劇は突然訪れました。

この本は、幼くして政略結婚をさせられた後、次々と巻き起こる数奇な運命のために、５回も別の王と結婚することになった少女の１０年間を描いたファンタジーです。壮大な冒険映画を観たような興奮の後に、ゆっくりと静かな感動が訪れる菅野ワールドを体験してください。

●「水族館部、フォーエバー！（永遠なれ！）」

『長浜高校水族館部！』

令丈 ヒロ子／文　紀伊 カンナ／絵　講談社

愛知県立長浜高等学校。全校生徒約１２０名の小さなこの学校には、日本でただ一つ「水族館部」という部活がある。その名の通り、水族館の運営を中心に、日々、生きものたちに向き合い活動する彼らだが、その日常に起こるのは、思いがけないことばかりで…。

水族館部の新入部員である主人公の成長に合わせてつづられる、テレビにも紹介された部活をモデルに書かれた青春部活動小説。最近、学校生活に潤いが足りてないなと感じるあなたにおすすめの一冊です。

●ふたりと一匹のやさしい時間

『初恋まねき猫』

小手鞠 るい／著　講談社

童話が大好きなしおりは、ブルーグレイの毛にエメラルドグリーンの瞳のサージュという猫を飼っています。サージュは、怪我で寝たきりになった龍樹の部屋にも訪れていて、龍樹にはアンジュと呼ばれていました。猫（サージュ＝アンジュ）がふたりの間を行き来していることが分かり、お互いの書いた手紙や絵を届けてくれるのですが…。

しおりと龍樹は、会ったことはないけれど、誰にも言えない悩みを打ち明けたり励ましあったり、相手を思いやる文章と絵で心を通わせていきます。読み終わった読者にも、サージュ＆アンジュが、あたたかい気持ちをきっと運んできてくれます。

●役には立たない辞典です。

『妄想国語辞典』

野澤 幸司／著　扶桑社

この本は、言葉のウラにひそんでいる“ほんとう”の意味を示したものです。「阿部さんのあだ名はアベちゃん（意味：自然な流れのこと。）」、「起床後の繰り返しアラーム（意味：自分のせいなのに腹が立つこと。）」、「花粉症じゃなくて風邪（意味：事実を受け入れない様。）」

日頃、なにげなく使っている言葉。だけど、受け取る側はモヤモヤしたり、ひっかかりがあることも。そんな言葉の“あるある”辞典です。

●役に立つも立たぬもそれは人間の都合？

『カビはすごい！』

浜田 信夫／著　毎日新聞社

小学生の頃、絵の具セットを開けるとカビがギッシリ。そんな経験を持っている人も多いのでは？水虫にアレルギー、人間の体に悪影響を及ぼすカビもあれば、抗生物質のペニシリンやブルーチーズなど人間にとって有効な使い方をされているカビもあります。数万種もあると言われるカビ。しかしながら、私たちが目にするカビの種類はある程度決まっていると言います。人から全く無視されているもの、人に知られていないもの。未知なるカビの世界へようこそ！

●ミイラが示すもの、それは愛と尊敬と思いやり

『ミイラ学』

タマラ・バウワー／著・絵　こどもくらぶ／訳　今人舎

「王妃の父、イウヤ様がこの世を去り、彼の魂は西へと向かいました」ミイラ職人たちはさっそく仕事にとりかかる。イウヤの遺体から内臓を取り出し、体の形を整え、４０日間かけて乾燥させる。ミイラづくりは神聖な仕事であり、死者への愛と思いやりの行為だ。その方法は父から息子へ語り継がれる秘密だった。これはミイラ職人の家族の話。ミイラの不気味なイメージを覆す、古代エジプトの神秘の世界が美しいイラストでよみがえる！

●小さな島国が辿った波乱万丈な歴史

『アホウドリの糞でできた国』

吉田 靖／文　寄藤 文平／絵　アスペクト

あなたはナウル共和国を知っていますか？太平洋に浮かぶ、世界で三番目に小さな国です。なんと、この国はアホウドリの糞でできた島なのです。「ええ～、汚い！」と思いましたか？しかし、この糞がもたらす資源を世界中の国々が求めたことで、ナウル共和国は植民地支配を受け、独立後には「世界で最も豊かな国」と呼ばれるまでになるのです。

この本を読めば勉強が苦手なあなたも歴史や政治の面白さに気づける…かも知れません。